

スプリングレビュー調書

緊急経済対策事業本部

【協議事項】(案件名を記入してください)

緊急経済対策の取り組みについて

【現状と課題】

(論点とすべき点を下線で強調してください)

【現状】

- ① わが国の経済は中国の経済成長の持続や米国経済の回復などにより、着実に持ち直してきているが、消費の低迷などから内需の伸び悩みが懸念されている。
- ② 本年後半以降の国の経済対策等の効果が薄らぐことによる景気回復の再減速への懸念も存在している。
- ③ 本地域においても、景気はゆるやかではあるが回復基調に向かうと考えられるが、従前のような国内生産の回復が見込めない中では、ものづくりに特化した本地域へのダメージは大きいと予想される。

【課題】

景気低迷の長期化に加え、大企業の海外への生産移転が進展することにより、中小下請け企業においても設備投資を海外へ向けざるを得ない状況にある。生産規模の縮小、さらには生産拠点の海外移転の進展は、地域の雇用の維持はもとより、地域経済への多大な影響が懸念される。

【課題解決に向けた今後の方向性】

(論点とすべき点を下線で強調してください)

- ① 23年度以降も緊急的な雇用対策と併せ、成長が期待される分野での雇用創出への積極的な取り組みが必要である。
- ② 新産業の創出など新たな雇用の受け皿づくりが必要である。
- ③ 産業構造が大きく転換していく中で、中小企業をはじめ本地域の産業のあるべき方向性を示すことが必要である。

【今後の主要事業(案)】

(論点とすべき事業を下線で強調し、概要書(主要事業調書等)を添付してください)

- ① 労働移転の促進
成長が期待される介護、医療、農林水産、環境・エネルギー、観光、地域社会雇用などの分野における雇用創出に取り組み、製造業等からの労働移転を促進する。
- ② (仮称)雇用創出方針の明示
産業、福祉・介護、農林業などの分野における新たな雇用創出につながる施策等を取りまとめ、(仮称)雇用創出方針として今後の取り組みの方向を明らかにする。
- ③ 中小企業の振興方策
商工会議所など関係機関との連携のもと、企業・事業者等の動向把握や地域経済の実態把握に努め、今後の地域の中小企業の振興策を検討する。

【協議要旨】

- ◆ **雇用情勢の分析を行い、就労につながる対策を進める。**

